

令和2年度の取り組み

1. 令和2年度の取組方針

佐世保市環境基本計画に掲げる望ましい環境像「**自然と共にいきるまち させぼ**」を未来の子どもたちへ継承するため環境保全の重要性に気づき、考え、それぞれの立場に応じて自発的・積極的に環境に配慮した行動ができる市民「**環境市民**」を育てる環境教育を推進し、持続可能な社会を目指していきます。

具体的な施策展開、活動指標

自然と共にいきるまち
させぼ

本計画の
目指すべき姿

環境市民の育成

(1) 環境教育プログラムの実施

① 年代やテーマに応じた環境関連講座等の開催

(2) 地域における環境教育の充実

- ① 市民や市民団体、事業者等に対し講師の派遣
- ② 地域資源（人材や自然環境など）を活用した環境教育の展開
- ③ 実践活動の機会創出、環境保全活動支援
- ④ 拠点機能の充実

(3) 学校等における環境教育の充実

① 発達段階に応じた環境教育の実施

指標名	H29年度 現況値	R1年度 12月末現在	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R4年度 目標値
環境関連講座の実施回数	101回	167回 (213回)	105回	107回	110回
環境関連講座等の参加者数	4,320人	5,951人 (8,229人)	4,484人	4,566人	4,730人
講師等の派遣回数	56回	69回	66回	71回	80回
環境アドバイザー登録人数	6人	6人	8人	9人	12人
環境保全団体等登録数	4団体	4団体	6団体	7団体	10団体
自然体験会等の実施回数	25回	19回 (65回)	現況値より 増	現況値より 増	現況値より 増
自然体験会等の参加者数	517人	705人 (2,983人)	現況値より 増	現況値より 増	現況値より 増
環境美化活動等への参加者数	49,352人	48,513人	49,612人	49,742人	50,000人
環境保全団体等の活動への 参加者数	1,018人	1,110人	1,410人	1,606人	2,000人
環境マネジメントシステム 取得事業所数	74事業所	75事業所	78事業所	80事業所	84事業所
e宣言@サセボ認定団体数	21団体	22団体	25団体	27団体	30団体
させぼエコプラザの 情報発信回数	81回	81回	89回	93回	100回
させぼエコプラザの利用者数	8,347人	8,459人	9,500人	10,000人	11,000人
学校等に対する支援校数	13校	14校	16校	17校	20校
学校等に対する支援回数	37回	30回	42回	45回	50回
学校版環境ISO認定校数	19校	26校	26校	29校	35校

2. 令和2年度の取り組み

(1) 環境教育プログラムの実施

① 年代やテーマに応じた環境関連講座等の開催

環境問題とその解決へ向けた行動への学習意欲、関心の向上を目指し、年代、活動の場やテーマに応じた環境関連講座等を開催し、市民の体験活動の場や機会の充実を図ります。

- 幼児向け環境イベント ⇒ 継続
- 野生生物保護活動 ⇒ 継続
- 大学との連携 ⇒ 継続
- 親子でエコチャレンジ ⇒ 改善
- 自然体験会 ⇒ 継続
- エコプラザ各種講座 ⇒ 継続
- 市職員への講座 ⇒ 継続

連携中枢都市圏の事業として周辺市町の住民も対象とする。

市町毎に、申請数を調整し偏りがないように見直しを検討中。

令和元年度から、全小学4年生を対象に「ふるさと環境自然体験学習」を実施。

令和元年度は、試行的に「歴史」と「温暖化」をテーマに「街あるき温暖化教室」を実施。令和2年度は、子供向けの「歴史」と「温暖化」をテーマに実施し、大人向けに近年頻発している異常気象について関心が高いと考えられる「防災」と「温暖化」をテーマとして、地区自治協議会と連携し、講座を開催予定。

(3) 学校等における環境教育の充実

① 発達段階に応じた環境教育の実施

環境教育求められる役割や必要な手法は発達段階ごとに異なることから、各段階に応じたきめ細かい支援等を行い、学校等での環境教育と一層充実させていきます。

学校版環境ISOをはじめ、環境教育取り組む学校等に対し、環境に関する情報の提供や講師の派遣、環境教材の貸し出し等を行い、学校等の環境教育を支援します。

- 幼児向け環境イベント ⇒ 継続
- 県環境アドバイザー ⇒ 継続
- 地域環境インタビュー ⇒ 継続
- どこでも環境教室 ⇒ 継続
- エコプラザ出前講座 ⇒ 継続
- 学校版環境ISO認定 ⇒ 改善

平成19年度の制度運用開始から10年が経過し、学校を取り巻く様々な環境は大きく変化。（国際的な取り組み、学習指導要領の改訂、教職員の働き方改革、普通教室等への空調機設置など）

より効果的・効率的に推進していくために、どの学校でも取り組みやすい制度に見直し。（令和2年4月から新たな制度で運用開始）

させばエコアクションスクール
(S-EAS (シーズ))

(2) 地域における環境教育の充実

① 市民や市民団体、事業者等に対し講師の派遣

地域において環境教育や実践活動を展開している市民や市民団体、事業者等に対し、情報の提供や講師の派遣等を行い、地域の自主的な活動を支援します。

- どこでも環境教室 ⇒ 継続
- 県環境アドバイザー ⇒ 見直し検討中
- エコプラザ出前講座 ⇒ 継続

② 地域資源（人材や自然環境など）を活用した環境教育の展開

指導者の育成・確保のために、市民団体や事業者等の各主体と連携して、指導者養成講座等を実施し、そこで育成された人材や、環境保全活動を行っている市民団体等が活動・活躍できる場や機会を提供します。

本市ならではの西海国立公園「九十九島」をはじめとする自然豊かなフィールドを活かした自然体験学習会や観察会等を通し、自然環境保全活動を推進します。また、農林水産業や地域における産業、地域における環境保全に関する文化や歴史の継承にも配慮して幅広い視点を持って取り組みます。

- させば環境アドバイザー登録 ⇒ 継続
- ビジターセンターとの連携 ⇒ 改善
- 野生生物保護活動 ⇒ 継続
- 自治協との連携 ⇒ 改善
- 指導者養成講座 ⇒ 継続
- 環境保全団体登録 ⇒ 継続
- 自然体験会 ⇒ 継続
- 大学との連携 ⇒ 継続

③ 実践活動の機会創出、環境保全活動支援

植樹活動や環境美化活動などの実践活動は、多くの市民や事業者等に環境意識を醸成する環境教育の場となることから、実践活動の機会の充実を図り、多くの主体に参加を促していきます。

自主的に活動を実施している団体に対して必要な支援を実施し、地域の環境保全につなげるだけでなく、環境教育や環境保全活動の場や機会を確保することにもつなげていきます。

- 資源集団回収 ⇒ 継続
- 市民大清掃 ⇒ 継続
- こどもエコクラブ支援 ⇒ 継続
- 環境マネジメントシステム取得支援 ⇒ 継続
- ごみ減量アドバイザー派遣 ⇒ 継続
- させば美化プロジェクト ⇒ 継続
- e宣言@サセボ認証登録制度 ⇒ 継続

④ 拠点機能の充実

市が実施する大気や水質、希少野生生物生息状況等の調査結果、市民団体や事業者等が行う環境保全活動の実施状況などの情報を地域に向けて積極的に発信し、地域の現状についての理解を深めます。

させばエコプラザを拠点として、各主体が有する環境に関する情報を貼心・共有することで、協働取組を行う主体同士の相互理解と信頼醸成へつなげます。

また、各主体が行っている優れた活動を表彰等することで、環境教育や環境保全活動を推進していきます。

- 環境学習サイト「eカンキョウ@サセボ」 ⇒ 継続
- させばエコプラザホームページ・SNS ⇒ 継続